

キャンペーン・水稻用除草剤適正使用

(公財)日本植物調節剤研究協会

当協会では、水稻用除草剤の効果の安定と水田外への流出防止のため、散布前後の水管理の徹底を啓発する事業を行っています。その一環として、とくに散布後7日間落水、かけ流しをしないよう注意を促すキャンペーン広告を、会員会社の協力を得て、4月から5月に日本農業新聞上に掲載し、その記事を植調協会ホームページでも紹介しています。

一般に、水稻用除草剤は、散布後有効成分が水中に溶け出し、水田水を介して水田土壤の表層に拡がって除草効果を発揮するため、散布後に止水し、水を水田の外に流さないことは、除草効果を

安定させるとともに水田外への成分の流出を防ぐことになります。

この除草剤適正使用キャンペーンは、畦畔の整備とともに散布後7日間、水を水田の外に出さないよう周知徹底を図るものであります。

一昨年、昨年に引き続き、かけ流しをさせないための水管理法として、水稻用除草剤散布後水稻がなくなるまで給水しない止水管理を紹介しています。この水管理法の詳細については、当協会ホームページをご覧下さい。

以下に今年のキャンペーン広告を掲載いたしました。